

連続講座 2013年度の講師陣
〈震災と文学〉

熊谷達也 (作家)

- 2013年10月25日
- 「小説に何が出来るか～仙河海市の物語を通して～」



若松丈太郎 (詩人)

- 2013年12月6日
- 「3.11以前、福島原発詩歌」



和合亮一 (詩人)

- 2013年11月8日
- 「『詩の隙』から『廃炉詩篇』へ」



玄侑宗久 (作家)

- 2014年2月17日
- 「無常を生き抜く」



鎌田慧 (ルポライター)

- 2013年11月22日
- 「東北と原発の40年」



共生の大地 東北のために——東北学院大学地域共生推進機構

東日本大震災を経験した後、地域に対して大学が果たさなければならない役割が明確となりました。第一に、災害復旧に果たす大学生ボランティアの役割、第二に、疲弊した地域の産業復興に果たす媒介者の役割、第三に、地域研究を通して地域のあるべき姿を構想していく役割、そして第四に地域を構成する種々の階層の人々と共生を目指していく役割。これらの役割を果たしつつ、地域に深い貢献を成し遂げるために、東北学院大学は地域共生推進機構を設立いたしました。

- まちづくり/減災クラスター支援部門
- 地域を担う人材の育成/地域人材育成・教育研究支援部門
- ボランティア・地域福祉/市民協働部門
- 多様な人材によるコミュニティ創造/多文化共生・国際交流部門



JR仙台駅から徒歩20分。地下鉄「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩5分。バス停「仙台市立病院前」から徒歩5分。

*一般用駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

企画・コーディネート/有限会社荒蝦夷

東北学院大学地域共生推進機構

連続講座 震災と文学

〈2014年度・前期5回〉

山折哲雄

宗教学者

2014年5月16日(金) 18:00~19:30

「震災と谷崎潤一郎」

赤坂憲雄

学習院大学教授
福島県立博物館館長
遠野文化研究センター所長

2014年6月6日(金) 18:00~19:30

「島尾敏雄、あるいは海辺の文学へ」

山形孝夫

宗教学者

2014年6月20日(金) 18:00~19:30

「〈悲しみの知〉としての物語——死者の語りの地平から」

小森陽一

東京大学大学院教授

2014年7月11日(金) 18:00~19:30

「死者を仲立ちとした応答——3.11後の林京子と大江健三郎」

東雅夫

アンソロジー
文芸評論家
怪談専門誌「幽」編集長

2014年9月26日(金) 18:00~19:30

「震災と怪談の文学史」

会場/東北学院大学土樋キャンパス 842教室(8号館4階)

入場/無料

【主催/お問合せ・お申込み】

東北学院大学地域共生推進機構

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

TEL/022-264-6424 FAX/022-264-6364 Eメール/kikou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

*席に限りがございますので事前のお申し込みをお勧めいたします。申込者の氏名・住所・電話番号・年齢(お持ちの方はEメールアドレスも)をご明記の上、ハガキ、電話、FAX、またはEメールにてお申込みください。5回連続でも1回ごとでもお申込みいただけます。



東北学院大学
TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

東日本大震災 慰霊